

2007年度

事業報告書

2007(平成 19)年 4 月 1 日

2008(平成 20)年 3 月 31 日

第一部 西南女学院の概況

1. 法人の沿革及び設置する学校の概要	...	1
2. 主要行事	...	2
3. 宗教教育活動	...	3
4. 学生・生徒・園児	...	7
(1)志願者数 (2)在籍者数 (3)卒業生数		
5. 役員・評議員	...	9
6. 教職員組織	...	9
(1)教職員数 (2)組織図		
7. 理事会議案及び決議	...	11

第二部 財 務

主な 2007 年度予算の執行状況		
(1)資金収支計算 (2)消費収支計算 (3)貸借対照表	...	13
(4)学生数・財務比率などの推移		

学校法人西南女学院

第一部

西南女学院の概況

1. 沿革及び設置する学校の概要

学校法人の沿革	1922(大正11)年	3月	西南女学院設立認可(5年制高等女学校)
	1938(昭和13)年	4月	財団法人西南女学院設立認可
	1946(昭和21)年	3月	西南女学院専門学校設置認可(英語科・生活科)
	1947(昭和22)年	4月	学制改革により西南女学院中学校設置認可
	1948(昭和23)年	3月	学制改革により西南女学院高等学校設置認可
	1950(昭和25)年	3月	西南女学院短期大学設置認可(英語科・家政科)
	1951(昭和26)年	2月	学校法人西南女学院設立認可
	1952(昭和27)年	2月	西南女学院幼稚園設置認可
	1958(昭和33)年	1月	西南女学院短期大学保育科設置認可
	1971(昭和46)年	1月	西南女学院短期大学食物栄養科設置認可
	1993(平成5)年	12月	西南女学院大学設置認可(保健福祉学部)
	2001(平成13)年	8月	西南女学院大学保健福祉学部栄養学科設置認可
	2001(平成13)年	12月	西南女学院大学人文学部人文学科設置認可
	2002(平成14)年	4月	西南女学院短期大学生生活創造学科(家政科)に名称変更
	2002(平成14)年	4月	西南女学院短期大学英语科、食物栄養科改組転換
	2003(平成15)年	4月	西南女学院短期大学英语科、食物栄養科廃止
	2004(平成16)年	4月	西南女学院短期大学を西南女学院大学短期大学部に名称変更
	2004(平成16)年	4月	西南女学院短期大学附属シオン山幼稚園を 西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園に名称変更
	2005(平成17)年	4月	西南女学院大学人文学部を改組し、西南女学院人文学部英語 学科及び観光文化学科設置届出
2008(平成20)年	4月	西南女学院大学助産別科開設	
設置する学校の概要	西南女学院大学 ()内は収容定員		
	保健福祉学部(1,320)		
	看護学科(340)		
	福祉学科(580)		
	栄養学科(400)		
	人文学部(640)		
	人文学科(400)		
	英語学科(120)		
	観光文化学科(120)		
	2006年4月英語学科(240)、観光文化学科(240)を設置。人文学科は在校生の卒業生を待って廃止。		
西南女学院大学短期大学部			
生活創造学科(200)			
保育科(300)			
西南女学院高等学校			
全日制課程 普通科(700)			
西南女学院中学校(500)			
西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園(180)			

2. 主要行事

2007(平成19)4.1~2008(平成20)3.31

'07(19). 4.	2	異動職員辞令交付 新任職員辞令交付 新任職員オリエンテーション	10. 27	大学編入学試験	
	4	大学・大学短期大学部入学式	31	大学編入学試験合格発表	
	6	中学・高校始業式	11. 1	大学ミッションデー	
	7	中学入学式 高校入学・進級式	6	大学短期大学部ミッションデー	
	9	幼稚園始園式 大学・大学短期大学部前期授業開始	8	大学ミッションデー	
	13	幼稚園入園式	9	大学短期大学部推薦・社会人・帰国子女入試	
	18	創立85周年記念式	10	大学短期大学部指定校推薦入試	
	19	第1回学院聖書学課	13	大学短期大学部ミッションデー	
5. 15		大学短期大学部ミッションデー	15	大学短期大学部推薦入試合格発表	
	17	大学ミッションデー	16	大学指定校・併設校推薦入試	
	18	墓前祈祷会	17	大学推薦・社会人・帰国子女入試	
	22	大学短期大学部ミッションデー	21	常任理事会	
	23	常任理事会、理事会、評議員会	20	西南音楽会	
	24	大学ミッションデー	22	キリスト教教育特別講演会	
6. 4		中学ミッションマンス(6/4、6/14、6/21、6/28)	27	大学推薦・社会人・帰国子女入試合格発表	
	6	後援会役員会・幹事会 高校ミッションウイーク(8日迄)	28	理事会・評議員会	
	8	同窓会関東支部総会	12. 6	第4回学院聖書学課	
	16	高校オープンスクール 同窓会広島支部総会	7	幼稚園クリスマス礼拝	
	21	第2回学院聖書学課	14	高校クリスマス礼拝	
	23	中学オープンスクール	18	幼稚園終園式	
	24	同窓会宮崎支部総会	19	中学クリスマス礼拝	
	27	後援会役員会・総会・新旧役員幹事懇親会	19	常任理事会、理事会	
7. 11		後援会役員会・幹事会	20	大学・大学短期大学部クリスマス礼拝	
	18	幼稚園終園式	21	中学・高校終業式	
	20	中学・高校終業式	26	大学・大学短期大学部冬期休業(1/6迄)	
	27	西南女学院維持会総会	'08(20). 1.	7	中学入学試験
	28	大学・大学短期大学部オープンキャンパス			大学・大学短期大学部後期授業再開
	31	大学短期大学部前期試験(8月4日迄) 大学前期試験(8月10日迄) 中高職員研修会	8	中学・高校始業式	
8. 6		大学短期大学部夏期休業(9月18日迄)	10	幼稚園始園式	
	11	職員研修懇談会 大学夏期休業(9月9日迄)	11	中学入学試験合格発表	
	26	大学・大学短期大学部オープンキャンパス	22	高校推薦入学試験	
	27	中高職員研修会	24	高校推薦入学試験合格発表	
9. 1		中学・高校始業式	31	高校一般入学試験	
	3	幼稚園始園式	2. 1	大学短期大学部一般前期入学試験	
	9	同窓会大分支部総会		大学後期定期試験(15日迄)	
	12	常任理事会	4	大学短期大学部後期試験(8日迄)	
	15	中学・高校文化祭		高校一般入学試験合格発表	
	21	理事会	5	大学一般前期入学試験	
	25	大学・大学短期大学部後期授業開始	8	大学短期大学部一般前期入学試験合格発表	
10. 8		幼稚園運動会	15	大学一般前期入学試験合格発表	
	13	中学・高校オープンスクール	13	常任理事会	
	18	第3回学院聖書学課	21	学院聖書学課	
	20	大学祭(21日迄) 大学・大学短期大学部オープンキャンパス	23	幼稚園生活発表会	
	22	後援会交流会	25	理事会	
			3. 1	高校卒業式	
			4	大学・大学短期大学部一般後期入学試験	
			7	常任理事会	
			11	大学・大学短期大学部一般後期入学試験合格発表	
			15	幼稚園卒園式	
			19	理事会・評議員会	
				中学・高校終業式	
				幼稚園終園式	
			21	大学・大学短期大学部卒業証書・学位記授与式	

3. 宗教教育活動(2007年度宗教委員会報告より抜粋)

2007年度は、全体としては、安定した活動が遂行できた年であり、西南女学院キリスト教センターの活動においては、一部に発展した年でもあった。その要因となったものは、昨年度において、度重なる学院拡大宗教委員会の議を経て、職員に対するキリスト教教育に関する基本的事柄につき、委員間で共通な理解を持つ作業が行われたことである。

・現状と展望

(1) 全体的総括

2007年度は、コリントの信徒への手紙一3章9節に基づいて、「同労者」として「共に担う」という点にアクセントを置いた「キリスト教による建学の精神に基づく女子教育を共に担う」ことをスローガンとした。

本年度は、本学が寄付と祈りによって支えた北九州市企画による「戸畑地区高齢者複合施設『ふれあいの里』」の開所式がキリスト教形式で行われ、本学が担った。大学ハンドベルクワイヤーはその「完成記念イベントふれあいフェスタ」には協力出演した。さらに、9月に行われた「九州ハンドベルフェスティバル」では当番校としての努力を果たした。また、キリスト教センターが「北九州アジアを考える会『中村哲先生講演会 ペシャワール報告』」の後援を引き受け、総務課が共に担った。

本年度は、キリスト教教育研究会の年間テーマを「若者伝道」とした。さらに「現代神学を学ぶ会」と「牧師交流会」においても、このテーマのもとで有機的に機能し、地域諸教会との関係に進展を見た。その報告を主とする「キリスト教教育研究会ニュースレター第一号」を発行した。

(2) 活動の概括

1. 教職員全体で、建学の精神を再確認し深める場として、創立記念式典、墓前祈祷会、教職員研修会、キリスト教教育特別講演会、クリスマスツリー点灯式、それに、新任オリエンテーション聖書学課、学院聖書学課(年5回)、教職員の朝礼拝(毎日)、教職員祈祷会(中高月1回、本部大学月2回)を行った。

聖書学課は、建学の精神を現状に照らして確認する場であることを奨励者間の共通認識として持たれ、全校から偏らず出席者が多くあり、また、本部及び大学・大学短期大学部の職員朝礼は活力を増した。

学院拡大宗教委員会は、「礼拝の充実」について、協議を始め、次年度へ継続する。

2. チャペル礼拝に関して、キリスト教センターは、中高との関係では、ミッションマンズの講師派遣の調整を行い、大学・大学短期大学部との関係では、宗教委員会にセンター事務室職員が陪席し学生課と共に担った。春季ミッションデーでは寺園喜基西南学院院長を招くことが出来たことは幸いであった。礼拝の実施は、各校で行った。大学・大学短期大学部合同クリスマス礼拝は、3年続いて九州厚生年金会館で持たれた。

3. 生徒・学生のためのキャンパスライフ総合サービスの窓口として、ボランティア関連では、「第3回到津こいのぼりまつり」(学生14名、職員名参加)、「北九州スマイル・キッズ 障害のある子どもと一緒に遊んで！」への呼びかけを行った。自主的活動関連では、「桜子クラブ」、「Hello! Open your heart 何でもお話ししましょう会」、「Hope Club」、「食べものからみた聖書」、「しゃべり場」、「聖書の会」が継続し、学生によるK G K聖書研究会が推進を見せた。5年前からの「広島女学院大学の『平和学習』参加」に、学生2名、職員2名が参加した。ミッションデーで相談必要と記載した学生の相談窓口となった。

4. 近隣諸教会との協力関係として、各校による生徒・学生の教会訪問プログラム、そのための「教会案内」及び「キリスト教教育年報第4号」発行、さらにキリスト教教育特別講演会、キリスト教教育研究会の活動が行われた。キリスト教教育研究会は、青年伝道をテーマに、「若者をどう理解し・どう伝えるか」に焦点を当て、「現代神学を学ぶ会」では、それに加え「新教育基本法」をテーマとした。「牧師交流会」は3時間30分の年1回の企画とした。また、前述の通り、「キリスト教教育研究会ニュースレター第一号」を発行した。

5. 地域の開かれた活動としては、冒頭に述べた『中村哲先生講演会 ペシャワール報告』がマロリーホールで行われた。高等学校のハンドベル部と大学ハンドベルクワイヤーが多くの地域奉仕を行い、その他、前述の通り、キリスト教教育研究会、キリスト教教育特別講演会がもたれた。

6. 教職員の主体的な定期的活動として、大学・大学短期大学部教職員の同好会「朝の集い」祈祷会（毎月2回）が行われている。

（3）2007年度の全体的評価

1. 2007年度の『『同労者』として『キリスト教による建学の精神に基づく女子教育を共に担う』』というスローガンは、昨年度の学院拡大宗教委員会による「西南女学院のキリスト教教育に関する基本的事項」の確認の具現化として、「聖書学課」及び「職員礼拝」の各々の目的から示される目標達成に拍車を掛けるものであった。その達成による総力のベクトルは外へ向かっており、地域を始めとする他者への奉仕である。社会福祉法人「福音会」の「ふれあいの里とばた」の開所式、その記念フェスタへの協力・参加はその象徴的活動である。それは、これらのことに実働的に協力している姿勢の情動的共有化により、職員が、「感恩奉仕」の精神の感覚を身近に体得する機会に恵まれることでもあった。

2. 学院拡大宗教委員会において院長と各所属長が確認したことにより、今後の「西南女学院のキリスト教活動」の確固たる展開が期待されるということを経験したが、その通りの展開となった。新たに、本学の根幹である「礼拝の充実」というテーマに取り組み始めた。次に記すような実態の具体的な処まで踏み込んだ協議が求められている。

3. 個々のプログラムを見ると、本学の根幹であるチャペルへの教職員の出席は、各校間においても、さらには大学・大学短期大学部では各学科により、著しく異なったままである。自主的活動は増加し、「平和学習」参加も進展している。しかし、全学の横断的情報のコミュニティーとしての「キリスト教センター便り」があるが、幼稚園、中学・高校、大学の多様なキリスト教教育における一貫性のプログラムがなく課題である。

4. 地域諸教会との協力関係を見ると、2007年度は、諸教会牧師との「牧師交流会」での懇談により、学院と諸教会、また諸教会間の関係が密となって、お互いのテーマが共有され、若者伝道への協力関係が焦点化されてきた。双方に活性化をもたらすこの路線で、今後も発展することが望まれる。

2007年度 学院年間主題・聖句

年間主題：「キリスト教による建学精神に基づく女子教育を共に担う」

年間聖句：「わたしたちは神のために力を合わせて働く者であり、
あなたがたは神の畑、神の建物なのです。」

(コリントの信徒への手紙一 3:9)

月主題・聖句 (新共同訳)

月	主 題	聖 句
4月	学院の教育の中心	ヨハネ15:16a
5月	学院のミッションの原点	マルコ10:44
6月	学院の女子教育の原点	マタイ28:10
7月	学院の教職員研修の原点	マタイ14:20
8月	学院の平和教育の原点	エフェソ2:14a
9月	学院の感恩奉仕の模範	レビ19:18c・d
10月	学院の共に喜ぶことの原点	フィリピ4:19
11月	学院の年度計画の土台	マタイ4:4
12月	学院のクリスマスの原点	ヨハネ3:16
1月	新年：すべての原点	ヨハネ4:16b
2月	成し遂げる力の源泉	マタイ11:28
3月	派遣	マタイ25:40

聖書学課(全体)

月日	奨励者	主題・聖書	司 会	奏 楽
4/19 (木)	院 長 岩阪 憲和	「感恩奉仕」 マタイ5:1-16	中・高教諭 庄司 眞	中・高教諭 為頼 康子
6/21 (木)	大学・大学短期大学部 学長 安藤 延男	「思い悩むな」 マタイ6:25-34	大学准教授 金丸 英子	幼稚園教諭 坂田 晶子
10/18 (木)	学院宗教主任 古川 敬康	「才能から見た職員相互助け合い」 ローマ12:5-8	中・高教諭 庄司 眞	中・高教諭 佐野 智江
12/6 (木)	中・高校長 内山 賢次	「midwife・マリア」 ルカ2:1-7	中高宗教主事 山田 光道	中・高教諭 為頼 康子
2/21 (木)	理 事 長 田中 綜二	「基督中心」 マタイ6:25-34	大学准教授 金丸 英子	大学短期大学部教授 岩阪 憲和

各校の主な宗教教育

<p>大学・大学短期大学部</p> <p>A．チャペル（学校礼拝）</p> <p>B．特別行事</p> <p>（1）春季ミッションデー 大学短期大学部：（火）5月15日・22日 大学：（木）5月17日・24日</p> <p>（2）秋季ミッションデー 大学短期大学部：（火）11月6日・13日 大学：（木）11月1日・8日</p> <p>（3）クリスマス礼拝 12月20日（木）14:00～15:50 九州厚生年金会館グランドホール</p> <p>（4）送別礼拝 大学短期大学部：1月22日（火） 大学：1月24日（木）</p> <p>C．キリスト教学及びキリスト教的人間観（授業）</p> <p>D．その他の宗教活動</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．聖歌隊 2．ハンドベルクワイヤー 3．英会話とバイブルクラス（E C B C） 4．キリスト者学生の会（K G K） 5．クリスチャン学生の会 6．キリスト教センター諸集会 7．朝の集い（早朝祈禱会毎月1，15日） <p>幼稚園</p> <p>5月11日 母の日礼拝 6月5日 花の日礼拝 17日 父の日礼拝 9月14日 敬老礼拝 11月11日 シオン山教会子ども祝福式参加 11月22日 収穫感謝礼拝 12月7日 クリスマス礼拝 13日 クリスマス祝会 23日 シオン山教会クリスマス合同礼拝参加</p>	<p>中学校・高等学校</p> <ol style="list-style-type: none"> 1．礼拝 クラス礼拝、放送礼拝 2．諸集会活動 中学：1・3土曜日 小羊会（祈禱会） 金曜日 宗教（汀会）委員会 高校：1・3土曜日 早天祈禱会 金曜日 宗教委員会 3．年間の対外的活動 施設訪問 12月19，20日「託寿館」（南小倉病院） 4．ミッションマンス（特別伝道月間） 中学：6月4日、14日、21日、28日 高校：10月3日、10日、17日、24日、31日 5．ミッションウィーク（特別伝道週間） 中学：10月18日（木）～20日（土） 高校：6月6日（水）～8日（金） 6．サマーキャンプ（中高合同） 7月23日（月）～25日（水） 志賀島 7．クリスマス礼拝 中学：12月19日（水） 高校：12月14日（金） 8．6年生のための特別礼拝 2008年2月26日（火） ロウ記念講堂
--	---

4. 学生・生徒・園児

(1) 志願状況

2007(平成19)年5月1日現在

学 校 名		募集人員	入学志願者数		実入学者数		
			推薦	一般	推薦	一般	
大 学	保 健	看護学科	80	44 (5)	304 (2)	43 (5)	57 (0)
		3年次編入	10	-	4	-	1
	福 祉	福祉学科	140	59 (5)	107 (3)	58 (5)	32 (1)
		3年次編入	10	5 (1)	1	5 (1)	0
	学 部	栄養学科	100	44 (1)	189 (2)	42 (1)	58 (0)
		計	340	152 (12)	605 (7)	148 (12)	148 (1)
	人 文 学 部	英語学科	60	20 (1)	125 (9)	20 (1)	40 (5)
		観光文化学科	60	43 (4)	111 (2)	43 (4)	33 (0)
		計	130	63 (5)	236 (11)	63 (5)	73 (5)
	小 計		470	215 (17)	841 (18)	211 (17)	221 (6)
累 計			1,056 (35)		432 (23)		
短 期 大 学 部	生活創造学科	100	51 (7)	55 (1)	51 (7)	28 (0)	
	保育科	150	108 (2)	92 (0)	108 (2)	33 (0)	
	計	250	159 (9)	147 (1)	159 (9)	61 (0)	
	累 計		306 (10)		220 (9)		
高 等 学 校	一般中学より	90	10	67	10	12	
	西南女学院中学より	46	46		46		
	計	136	123		68		
中 学 校		120	117		50		
幼 稚 園		3歳児 40	3歳児	36	3歳児	26	
		4歳児 15	4歳児	11	4歳児	11	
		5歳児 若干	5歳児	0	5歳児	0	

【注】()内は西南女学院高校からの志願者数・入学者数を内数で示す。

大学推薦入試には、AO入試の志願者数・入学者数を含む。

大学一般入試には、社会人入試、センター試験利用入試及び外国人留学生入試の志願者数・入学者数を含む。

短期大学部推薦入試には、併設校特別選抜入試及びAO入試の志願者数・入学者数を含む。

短期大学部一般入試には、社会人入試及びセンター試験利用入試の志願者数・入学者数を含む。

の内2名は満3歳児である。3歳の誕生日が来て入園する。

(2) 在籍者数

学校・学科等		新 入 生	総 数	
			2007(平 19).5.1 現在	2008(平 20).3.31 現在
大 学	看護学科	1 1 0	3 9 7	3 8 5
	3 年次編入	0	1	1
	福祉学科	1 0 4	4 7 4	4 6 0
	3 年次編入	9	1 5	1 5
	栄養学科	1 0 9	4 2 5	4 1 4
	3 年次編入	0	0	0
	人文学科	0	1 8 7	1 8 1
	3 年次編入	1	2	2
	英語学科	6 5	1 2 3	1 2 1
	3 年次編入	0	0	0
	観光文化学科	8 4	1 5 4	1 5 0
	3 年次編入	0	0	0
	計	4 8 2	1, 7 7 8	1, 7 2 9
	大学 短期 大学部	生活創造学科	7 1	1 4 9
保 育 科		1 8 0	3 2 0	3 1 5
計		2 5 1	4 6 9	4 6 3
中・高 4 5 6 年		6 8	2 4 2	2 3 6
中・高 1 2 3 年		5 3	1 5 2	1 4 5
幼 稚 園		4 6	1 2 4	1 2 4
合 計		9 0 0	2, 7 6 5	2, 6 9 7

(3) 卒業生数

2008(平成 20)年 5 月 1 日現在

2007(平成 19)年度卒業生		累 計	旧制女学校卒業生		累 計
学 校 名	人 員		女 学 校		
幼 稚 園	4 4	3, 3 2 1	女 学 校		2, 1 4 7
中 学 校	4 9	1 1, 8 1 9	専門学校	英語科	8 7
高 等 学 校	8 6	1 3, 5 0 9	累計(203)	生活科	1 1 6
大学 短期 大学部	(英 語 科)				
	生活創造学科	6 2			
	保 育 科	1 7 7			
	(食物栄養科)				
	計	2 3 9			
大 学	看護学科	8 9			
	福祉学科	1 5 8			
	栄養学科	1 0 5			
	人文学科	9 8			
	計	4 5 0			
合 計		8 6 8	合 計		2, 3 5 0
総 計 (卒業生総数)		6 4, 6 5 6			

(注) 中学校卒業生 4 9 名の中、内部高校進学者数 4 6 名

5. 役員・評議員数(2008(平成20)年3月1日現在)

理事 (理事長 田中綜二)

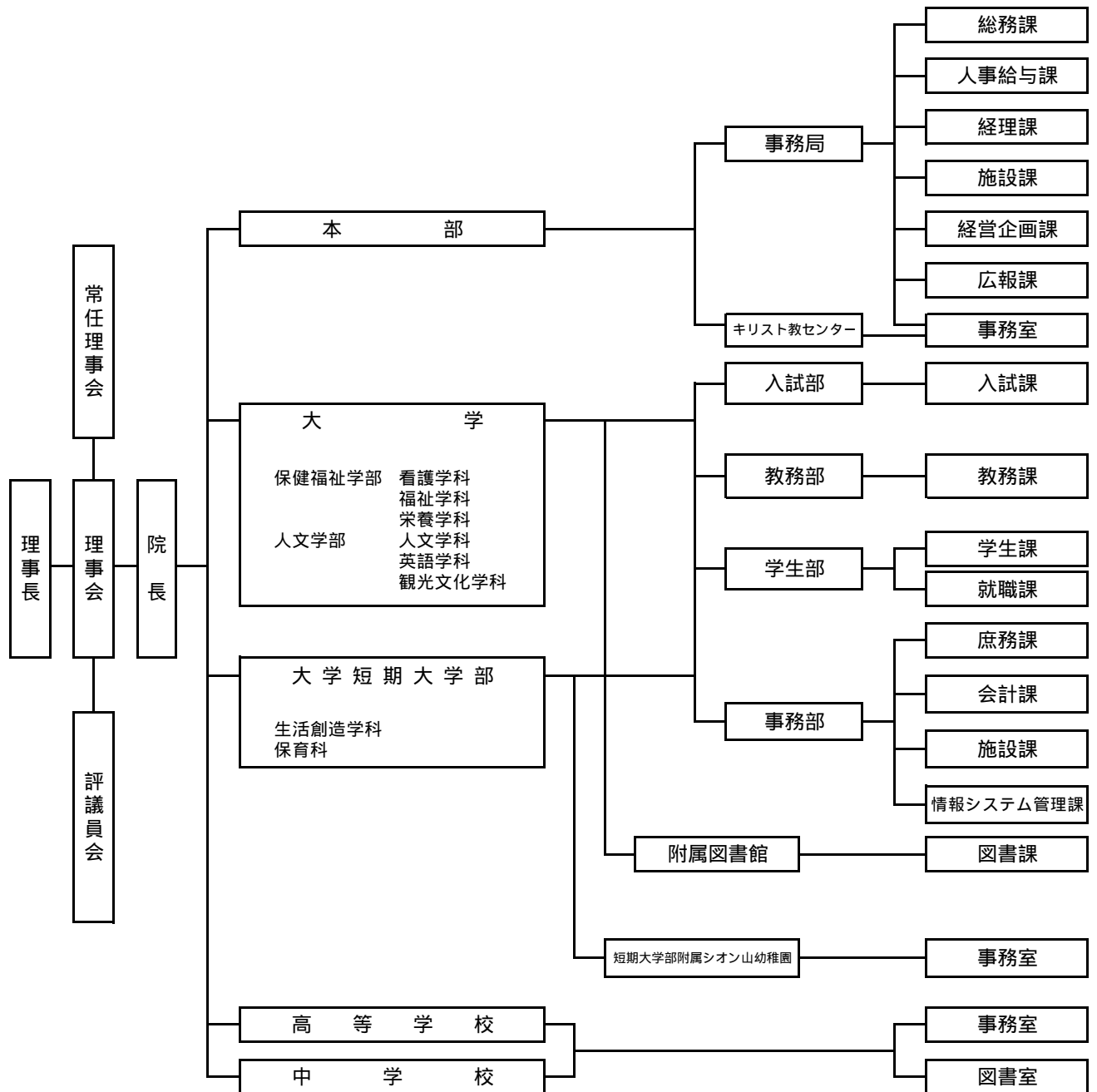
定数	19名	現員	17名
監事	定数 2名	現員	2名
評議員	定数 41名	現員	36名

6. 教職員組織

(1) 教職員数(2008(平成20)年3月1日現在)

	教員数	職員数	計
本部	-	13	13
大学・大学短期大学部	120	64	184
中学校・高等学校	44	3	47
大学短期大学部附属 シオン山幼稚園	9	-	9
計	173	80	253

(2) 学校法人西南女学院の組織図 2008(平成20)年3月1日現在



7. 理事会議案及び決議 (2007(平成19)年4月～2008(平成20)年3月)

第1回	2007(平成19)年5月23日(水)		
	・人事について	承	認
	・2006(平成18)年度決算について		
	(1)決算報告	承	認
	(2)事業報告	承	認
	(3)監事による監査報告	承	認
	・西南女学院給与規程改正(案)について	承	認
	・西南女学院大学短期大学部附属シオン山幼稚園園則改正(案)について	承	認
	・姉妹入学金減免制度の導入について	承	認
第2回	2007(平成19)年6月6日(水)		
	・2008(平成20)年度大学及び大学短期大学部の学納金について	承	認
第3回	2007(平成19)年9月21日(金)		
	・2008(平成20)年度予算基本方針(案)について	承	認
	・人事について	承	認
	・西南女学院大学学則改正(案)について		
	(1)別表第一(保健福祉学部栄養学科)	承	認
	(2)第30条～第31条(転学部及び転学科ほか)		
	・西南女学院大学「転学部・転学科規程」制定(案)について	承	認
	・西南女学院大学「転入学・編入学規程」改正(案)について	承	認
	・西南女学院大学短期大学部学則改正(案)について		
	(1)第5条・第11条・別表(生活創造学科教職課程関係)	承	認
	(2)第24条～第29条(転入学、転学科ほか)	承	認
	(3)別表(2.専門教育科目:生活創造学科)	承	認
	(4)別表(2.専門教育科目:保育科)	承	認
	・西南女学院大学短期大学部「履修規程」改正(案)について		
	(1)生活創造学科	承	認
	(2)保育科	承	認
	・西南女学院大学短期大学部「転学科規程」制定(案)について	承	認
第4回	2007(平成19)年11月28日(水)		
	・人事について	承	認
	・2007(平成19)年度補正予算(案)について	承	認
	・西南女学院大学学則改正(案)について	承	認
	・大学姉妹入学金減免規程制定(案)について	承	認
	・2008(平成20)年度中学校・高等学校校納金について	承	認
	・名誉教授の称号の授与について	承	認
	・次期院長について	承	認
第5回	2007(平成19)年12月19日(水)		
	・西南女学院大学学則改正(案)について	承	認
	・西南女学院大学助産別科規程制定(案)について	承	認
	・人事について	承	認

第6回 2008(平成20)年2月25日(月)

- | | | |
|------------------------------|---|---|
| ・人事について | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学短期大学部「履修規程」改正(案)について | 承 | 認 |
| ・大学入学試験会議規程改正(案)について | 承 | 認 |
| ・大学における情報セキュリティポリシー改正(案)について | 承 | 認 |
| ・福祉学科指定保育士養成施設指定申請について | 承 | 認 |
| ・院長選考について | 承 | 認 |

第7回 2008(平成20)年3月19日(水)

- | | | |
|--|---|---|
| ・監事の選任について | 承 | 認 |
| ・2008(平成20)年度事業計画及び当初予算(案)について | 承 | 認 |
| ・役員及び評議員の選任について | 承 | 認 |
| ・西南女学院資産運用規程制定(案)について | 承 | 認 |
| ・役職手当支給規程改正(案)について | 承 | 認 |
| ・2007(平成19)年度給与改定(案)について | 承 | 認 |
| ・西南女学院高等学校学則改正(案)について | 承 | 認 |
| ・西南女学院中学校学則改正(案)について | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学学則改正(案)について | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学短期大学部学則改正(案)について | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学「履修規程」改正(案)について | 承 | 認 |
| ・西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部規則改正(案)について | 承 | 認 |
| ・助産別科設置に係る規程の整備について | | |
| (1)西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部規則改正(案)について | 承 | 認 |
| (2)西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部会議規則改正(案)について | 承 | 認 |
| (3)西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部教員及び助手選考規則改正(案)について | 承 | 認 |
| (4)点検評価改善会議規程改正(案)について | 承 | 認 |
| (5)大学非常勤講師候補者選考規程改正(案)について | 承 | 認 |
| (6)別科長候補者選考規程制定(案)について | 承 | 認 |
| (7)西南女学院大学助産別科「履修規程」制定(案)について | 承 | 認 |
| ・人事について | 承 | 認 |

第二部

財 務

主な2007年度予算の執行状況(財務の概要)

当期の予算の執行状況について、その概況を報告いたします。なお、金額は千円未満を四捨五入して示しています。

(1)資金収支計算

資金収支計算は、次の目的に基づいて作成しています。

毎会計年度、当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容を明らかにする。

当該会計年度における支払資金(現預金)の収入及び支出のてん末を明らかにする。

資金収支計算について、その主な内容をご報告いたします。

【科目の説明です。】

学生生徒等からの授業料や入学金などです。科目等履修料、聴講料も含まれます。

国や地方公共団体からの助成金です。

翌年度に入学予定の学生生徒等からの授業料や入学金などです。

・長期、短期の貸付金の回収額。
・特定の目的のために積み立てた預金等を解約した場合の収入額、などです。

収入として計上したが未収入となっているものや前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

土地、建物、構築物を取得するための支出です。

教育研究用の機器備品、その他の機器備品、図書などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために、資金を積み立てるための支出です。

支出として計上したが未払いとなっているものや、前払支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。

資金収支総括表

(収入の部)		(単位:千円)		
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等納付金収入	2,900,127	2,907,976	7,849	
手数料収入	39,512	41,659	2,147	
寄付金収入	55,852	55,153	699	
補助金収入	551,894	679,135	127,241	
資産運用収入	19,747	28,666	8,919	
事業収入	31,385	33,260	1,875	
雑収入	55,701	73,641	17,940	
前受金収入	608,334	575,168	33,166	
その他の収入	1,439,569	1,293,814	145,755	
資金収入調整勘定	635,108	662,559	27,451	
当年度資金収入合計	5,067,013	5,025,913	41,100	
前年度繰越支払資金	895,070	895,070		
収入の部	5,962,083	5,920,983	41,100	

(支出の部)				
科目	予算	決算	差異	
人件費支出	2,640,390	2,630,313	10,077	
教育研究経費支出	661,773	540,250	121,523	
管理経費支出	184,252	154,425	29,827	
借入金等利息支出	16,966	16,909	57	
借入金等返済支出	75,040	75,040	0	
施設関係支出	21,323	33,133	11,810	
設備関係支出	69,724	57,427	12,297	
資産運用支出	337,984	324,731	13,253	
その他の支出	1,349,786	1,249,171	100,615	
資金支出調整勘定	25,049	30,160	5,111	
当年度資金支出合計	5,332,189	5,051,239	280,950	
次年度繰越支払資金	629,894	869,744	239,850	
支出の部合計	5,962,083	5,920,983	41,100	

当年度資金収支差額	265,176	25,326	239,850
-----------	---------	--------	---------

* 上記の金額は千円未満を四捨五入しているため、合計など数値が計算上一致しない場合があります。

なお、以下の表についても同様です。

大学では文部科学省と「社会人の学び直しコース対応教育推進プログラム」委託契約の締結、認定管理者制度ファーストレベル教育の実施、助産別科の開設等地域との連携を深める事業を進めています。

高校では文部科学省のスーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール(SELHi)指定3年目事業を実施しました。

大学の「社会人の学び直しコース対応教育推進プログラム」委託事業経費、認定管理者制度ファーストレベル教育の実施経費、高校のスーパー・イングリッシュ・ランゲージ・ハイスクール(SELHi)3年目の取組経費、高校、中学の早期国際化教育の推進経費、大学、短大部での情報処理演習室の機器入替経費、幼稚園遊具の安全確保のための改修等の施設改修経費その他を支出しました。

借入金は計画どおり返済しています。

助産別科看護実習室の設置、学生、生徒の安全確保のための第3駐車場の整備等を実施しました。

(2)消費収支計算

消費収支計算は、次の目的に基づいて作成しています。

- 毎会計年度、当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容及び均衡の状態を明らかにする。
- 消費収入とは、帰属収入(負債とならない収入)から基本金に組み入れられた額を控除した収入です。
- 消費支出とは、会計年度中に消費する用役の対価及び減価償却額等の非資金を加えたものです。

消費収支計算について、その主な内容をご報告します。

なお、学校法人会計基準(文部省令第18号)の改正に伴い、2005年度決算から、一定の要件に該当する場合に基本金を取り崩すことが認められることとなりました。その要件とは、諸活動の一部又は全部を廃止した場合 保有する必要がなくなった場合 将来計画を変更した場合 その他やむを得ない事由、です。

西南女学院ではこの要件に該当するものについては「基本金取崩額」を計上しました。

【科目の説明です。】

学校法人への寄付による収入です。「消費収入の部」には現物による寄付も含まれます。

学校法人が提供した教育・研究等の対価として受け取る収入で、負債とならない収入です。

良好な教育環境を維持するための施設・設備等の額であり、帰属収入から差し引く金額です。

教職員に支払われる給与などです。

学生生徒等の教育研究のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

学校法人が使ったお金または用役に対して支出した金額です。

帰属収入から消費支出を差し引いたものであり、純資産の増加を示します。

2005年度の学校法人会計基準の改正によりあらたに計上が認められました。

(消費収入の部) 消費収支総括表 (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	2,900,127	2,907,976	7,849
手数料	39,512	41,659	2,147
寄付金	55,852	57,543	1,691
補助金	551,894	679,135	127,241
資産運用収入	19,747	28,666	8,919
事業収入	31,385	33,260	1,875
雑収入	55,701	73,641	17,940
帰属収入合計	3,654,218	3,821,880	167,662
基本金組入額合計	133,556	130,258	3,298
消費収入の部合計	3,520,662	3,691,622	170,960

(消費支出の部)

科目	予算	決算	差異
人件費	2,585,498	2,604,984	19,486
教育研究経費	904,890	782,869	122,021
(うち、減価償却額)	(243,117)	(243,007)	(110)
管理経費	195,699	165,192	30,507
(うち、減価償却額)	(11,447)	(11,446)	(1)
借入金等利息	16,966	16,909	57
資産処分差額	0	3,639	3,639
徴収不能額	0	5,708	5,708
消費支出の部合計	3,703,053	3,579,301	123,752

帰属収支差額	48,835	242,579	291,414
帰属収支差額比率(注1)	-1.3%	6.3%	-
当年度消費支出超過額	182,391		
当年度消費収入超過額		112,321	
前年度繰越消費収入超過額	415,534	415,534	
基本金取崩額	46,149	49,413	
翌年度繰越消費収入超過額	279,292	577,268	

注1 帰属収支差額比率 = 帰属収支差額 ÷ 帰属収入 × 100

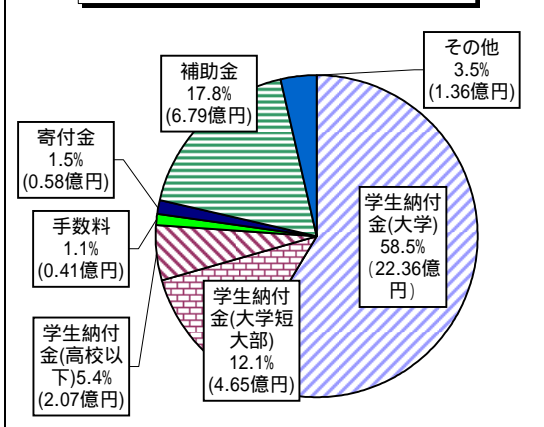
補助金(国庫補助金、地方公共団体補助金)、雑収入(私学退職金団体交付金)が予算を上回ったことにより帰属収入合計は予算を大きく上回りました。学生生徒等納付金が収入(帰属収入)の76.1%を占めています。

人件費には収入(帰属収入)の68.2%が充てられます。

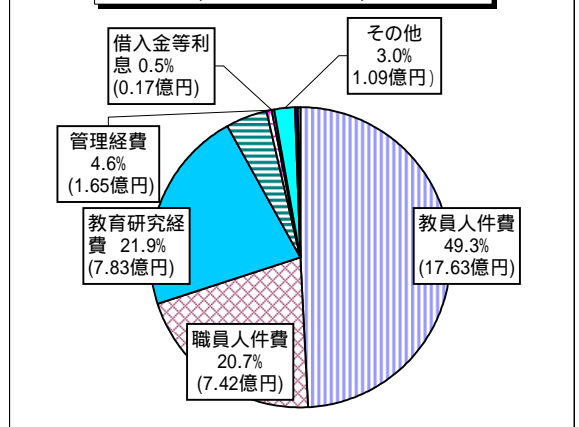
経費の減により消費支出の部合計は予算を下回りました。

上記の結果、帰属収支差額は予算に比べ、2億9,141万円上回り、帰属収支差額比率は7.6ポイント増加しました。また、当期の消費収支は1億1,232万円の収入超過となり、基本金取崩額を加えた翌年度繰越消費収支超過額は5億7,726万円の消費収入超過額となりました。

帰属収入(3,821,881千円)の構成比率



消費支出(3,579,301千円)の構成比率



(3) 貸借対照表

貸借対照表とは、年度末における学校法人の財政状態(財産の状態)を表示する計算書であり、資産・負債・基本金及び消費収支差額の項目があります。

- ・資産とは、教育研究活動に使用される学校法人の財産です。
 - ・負債とは、将来返済しなければならない債務です。
 - ・基本金及び消費収支差額は、返済の必要のない学校法人の資金総額(正味財産)です。
- 貸借対照表について、前年度末からの増減の主な理由を報告します。

【科目の説明です。】

校地、校舎、体育館などの建物及び建物付属設備(空調など)の額のことで。

教育研究のために使用される機械設備などの額です。

学生生徒等に貸与している奨学金の額のことで。

特定の目的のために使用する資産のことで。

現金及びすぐに引き出すことのできる預貯金のことで。

決算日(3月31日)における退職資金交付額、補助金額等の未収額です。

返済期限が1年以上の借入金のことで。

19年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額のことで。

返済期限が1年以内の借入金です。

翌年度に入学する学生生徒等から受け入れた授業料や入学金などのことで。

財産的な基盤を確保する額のことです。学校法人を安定的かつ永続的に経営していくために必要な額です。

資産から負債と基本金を差し引いた額です。プラスは収入超過を、マイナスは支出超過を表します。

貸借対照表

(単位:千円)

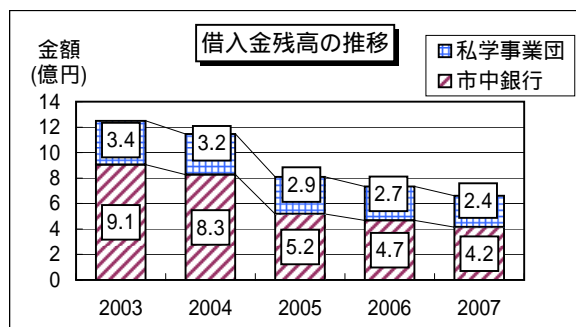
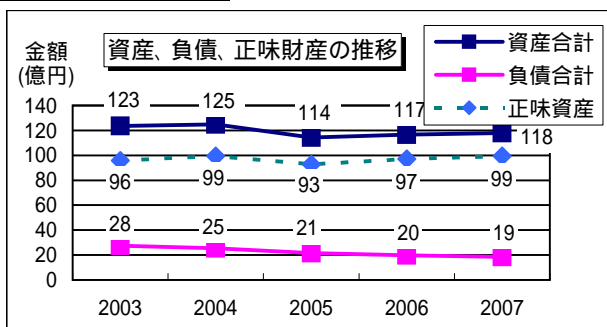
資産の部		本年度末	前年度末	増減
資 産	固定資産	10,859,484	10,766,647	92,837
	有形固定資産	5,949,894	6,115,170	165,276
	土地	719,921	719,921	0
	建物	3,772,668	3,925,553	152,885
	構築物	184,351	193,919	9,568
	教育研究用機器備品	259,188	272,563	13,375
	その他の機器備品	21,220	25,027	3,807
	図書	992,546	978,187	14,359
	その他の固定資産	4,909,590	4,651,477	258,113
	電話加入権	4,450	4,450	0
	長期貸付金	77,603	81,646	4,043
	諸引当特定資産	4,801,037	4,538,883	262,154
	出資金	26,500	26,498	2
	流動資産	938,869	908,207	30,662
	現金預金	869,743	895,070	25,327
	未収入金	63,576	8,759	54,817
	貯蔵品	2,353	1,150	1,203
	前払金	2,931	2,938	7
	立替金	36	16	20
仮払金	230	274	44	
合計	11,798,353	11,674,854	123,499	

特定引当資産(大学の設備費積立金)への繰入(2億5,000万円)、奨学金基金への繰入(406万円)などが増加しました。

負債の部、基本金の部、消費収支差額の部		本年度末	前年度末	増減
負 債	固定負債	1,101,159	1,201,527	100,368
	長期借入金	585,052	660,091	75,039
	退職給与引当金	516,107	541,436	25,329
	流動負債	750,619	769,331	18,712
	短期借入金	75,040	75,040	0
	未払金	27,222	25,840	1,382
	前受金	575,168	594,494	19,326
	預り金	56,089	51,927	4,162
	修学旅行費預り金	17,100	22,030	4,930
	計	1,851,778	1,970,858	119,080
基本金	9,369,307	9,288,462	80,845	
消費収支差額	577,268	415,534	161,734	
合計	11,798,353	11,674,854	123,499	

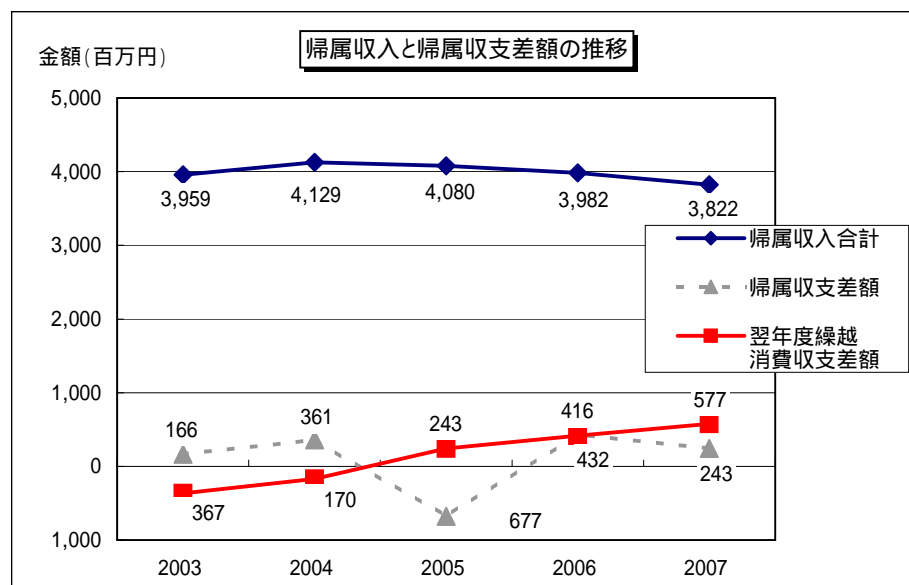
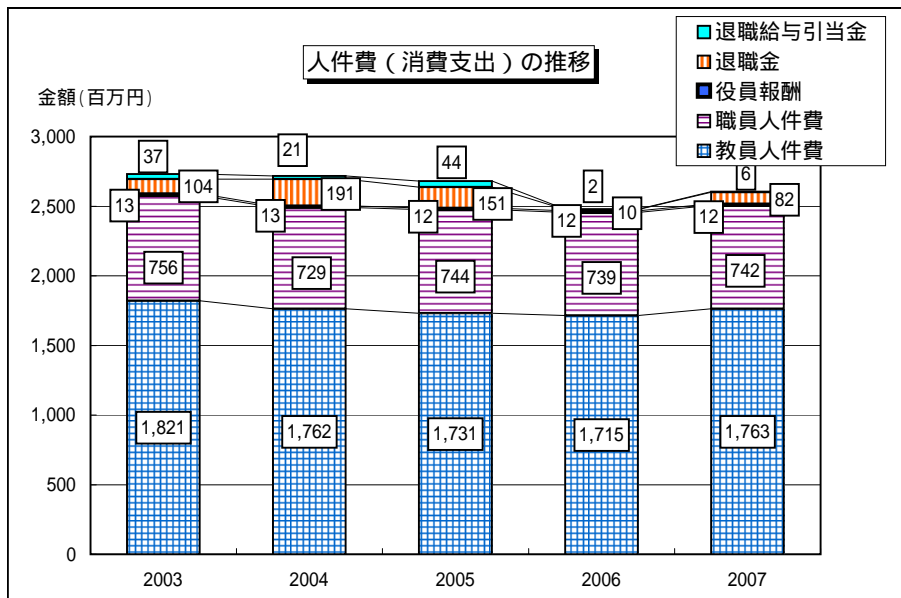
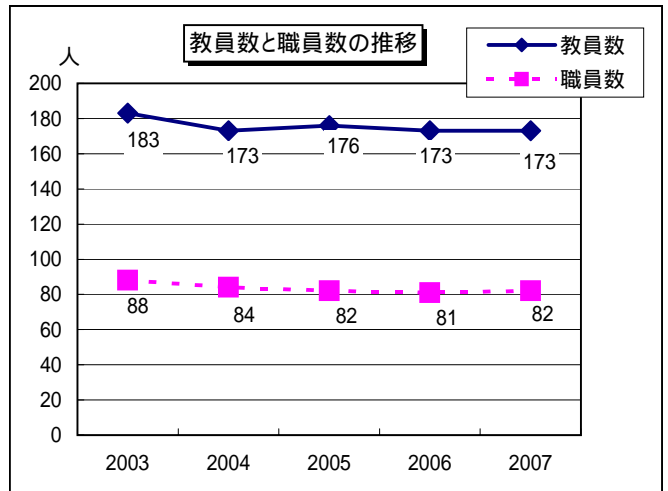
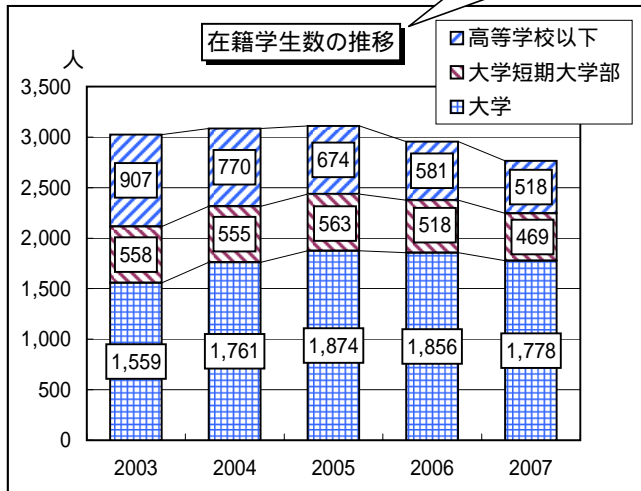
(参考)

正味財産	9,946,575	9,703,996	242,579
正味財産 = 資産 - 負債 = 基本金 + 消費収支差額			
減価償却額の累計額	3,603,957	3,437,063	166,894
基本金未組入額	660,091	735,131	75,040



(4) 学生数・財務比率などの推移

2006年度に大学の人文学部を英語学科(入学定員60人)、観光文化学科(入学定員60人)に改組しました。



帰属収支差額 = 帰属収入 - 消費支出